新しいクオリティへ、新しいスピードで。 『りそな』
HUMAN COMMUNICATION

平成23年3月期
（平成22年度）
決算発表時説明資料

平成23年5月13日

RESONA りそなホールディングス

Ⅰ．平成22年度決算のハイライト

（単位：億円）

■ HD連結当期純利益は前年度比、予想比とも増益. . Page1,2

⇔ 連結当期純利益：1,600億円、前年度比278億円（＋21.0%）、
予想比250億円（＋18.5%）増益

- 税金等調整前当期純利益：前年度比610億円（＋34.6%）増益
  ⇔ 増益の大宗：与信費用が前年度比530億円（△46.3%）減少
- 税金費用等：前年度比332億円増加
  ⇔ 前年度の有税貸倒引当金に係る税効果見直し影響等の剥落

■ トップライン収益は予想水準を確保. . . Page3,4

- 実勢業務純益（銀行合算）：2,600億円 ⇒ 公表予想通り
  ⇔ 預貸金利益：減益乍ら、計画利回り差（1.71%）を確保し、概ね予想水準
  ⇔ 役務取引等利益：投資信託等の販売額が復調、粗利益を牽引
  ⇔ 経費：ローコスト運営を徹底し、前年度比、予想比とも減少

■ 健全なバランスシートを堅持：. . . Page5,7

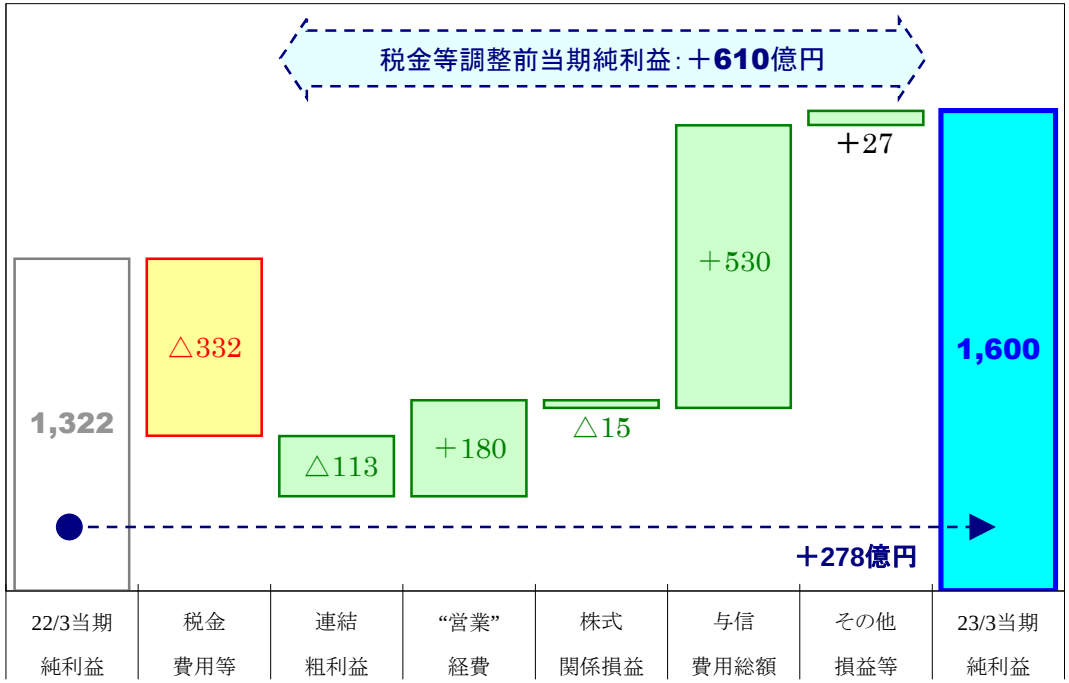
- 23年3月末不良債権比率（銀行合算）：2.43%
- 23年3月末その他有価証券評価差額（銀行合算）：926億円
- 23年3月末HD連結自己資本比率（速報値）：11.21% 、同Tier 1比率：7.51%

■ 資本再構築プランを着実に推進. . . Page6

- 普通株式発行に係る払込金額総額：5,477億円※1
- 預金保険法優先株式計：12,135億円（注入額ベース）を取得・消却※2
- 普通株主配当：1株につき2円の増配を実施

※1 公募等による新株式発行：5,211億円、第三者割当による新株式発行：265億円
※2 22年8月 4,000億円（取得価額総額：4,257億円）、23年3月 8,135億円（取得価額総額：8,819億円）

○ HD連結・当期純利益の前年度比増減要因



HD《連結》	23年3月期	22/3期比
連結粗利益	**6,670**	△113
税金等調整前当期純利益	**2,371**	＋610
当期純利益	**1,600**	＋278

HD〈単体〉	23年3月期	22/3期比
営業収益	**313**	△76
税引前当期純利益	**242**	△40
当期純利益	**262**	△87

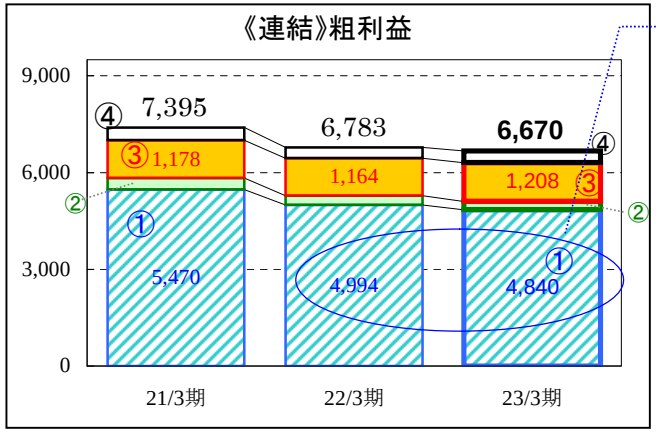
	銀行合算〈単体〉【23年3月期】	22/3期比	予想比（22年11月公表）	りそな〈単体〉	22/3期比	予想比（22年11月公表）	埼玉りそな	22/3期比	予想比（22年11月公表）	近畿大阪〈単体〉	22/3期比	予想比（22年11月公表）
業務粗利益	**6,057**	△94	△13	4,008	△58	＋18	1,483	＋4	△7	566	△40	△24
経費	**△3,456**	＋48	＋14	△2,275	＋33	△5	△762	＋2	＋13	△418	＋13	△3
実勢業務純益*1	**2,600**	△45	＋0	1,732	△24	＋12	720	＋6	＋5	147	△27	△28
経費率（信託勘定処理考慮）	**57.0%**	＋0.0%		56.7%	△0.0%		51.3%	△0.3%		73.9%	＋2.7%	

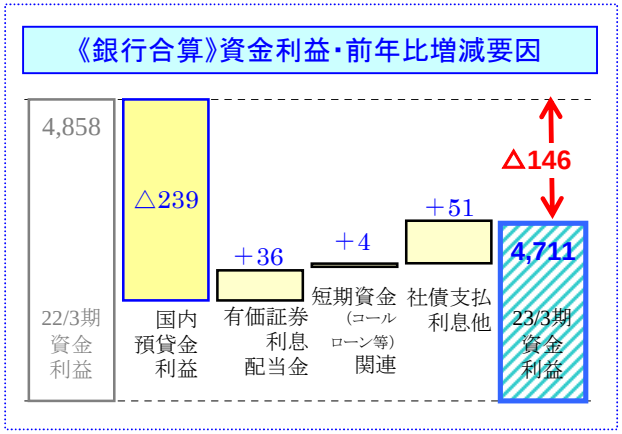
*1 実勢業務純益：信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益
注1）：金額については単位未満を切捨て表示
注2）：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

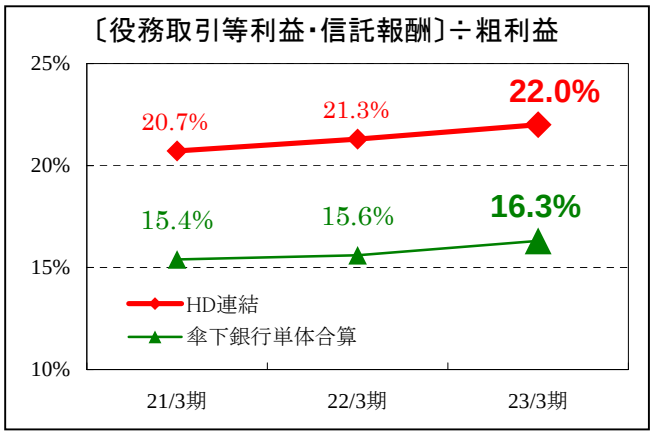
（単位：億円）

Ⅱ．平成22年度の損益概要等

	HD《連結》 (A)	22/3期比	連単差 (A)－(B)	傘下銀行単体合算 (B)	22/3期比	うち りそな〈単体〉	うち 埼玉りそな	うち 近畿大阪〈単体〉	連単差(A)－(B)の内訳など〔概数〕
粗利益〔連結/業務〕	6,670	△113	＋613	6,057	△94	4,008	1,483	566	
① 資金利益	4,840	△154	＋129	4,711	△146	2,915	1,328	467	カード55他
うち国内預貸金利益				4,217	△239	2,651	1,145	420	預貸金利益：国内部門、銀行勘定、預金に譲渡性預金を含む
② 信託報酬	259	△27	—	259	△27	259	—	—	
③ 役務取引等利益	1,208	＋44	＋479	729	＋52	532	125	71	保証303、カード161、他
④ その他業務粗利益	361	＋23	＋4	356	＋27	300	29	27	
実勢業務純益				2,600	△45	1,732	720	147	（信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益）
“営業”経費	△3,694	＋180	△193	△3,500	＋92	△2,282	△781	△435	カード△127、保証△37、他
株式関係損益	△8	△15	＋8	△17	△60	△19	△1	4	
与信費用総額	△615	＋530	△247	△368	＋452	△175	△107	△84	保証△201、カード△57、他
その他損益等	18	＋27	＋12	6	＋21	23	△6	△11	
税引“前”当期純利益	2,371	＋610	＋193	2,177	＋411	1,553	586	38	
税金費用ほか	△770	△332	△98	△672	△137	△501	△237	66	少数株主利益△43、HD他税金費用他△54
税引後当期純利益	1,600	＋278	＋95	1,505	＋273	1,051	348	104	

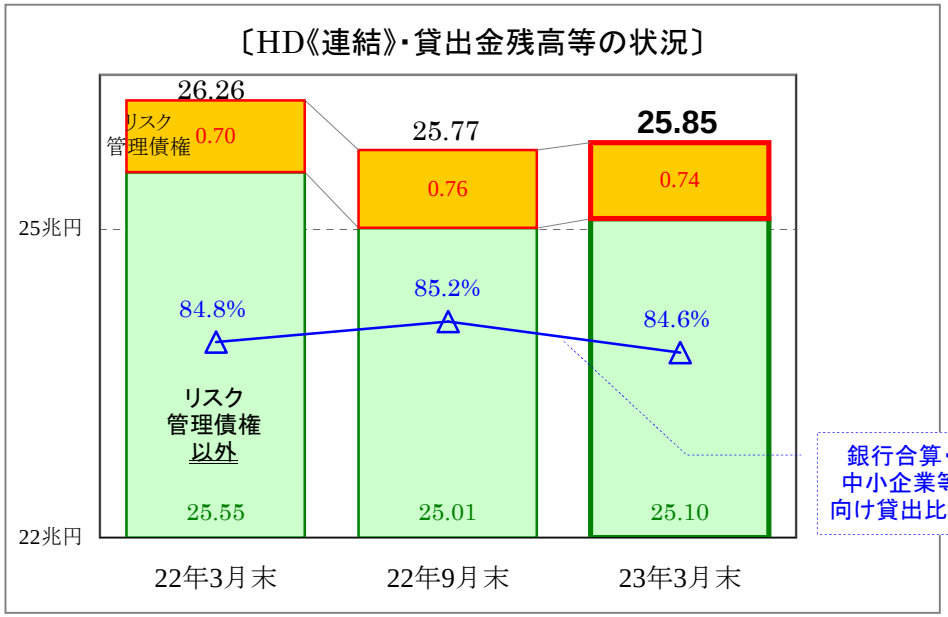


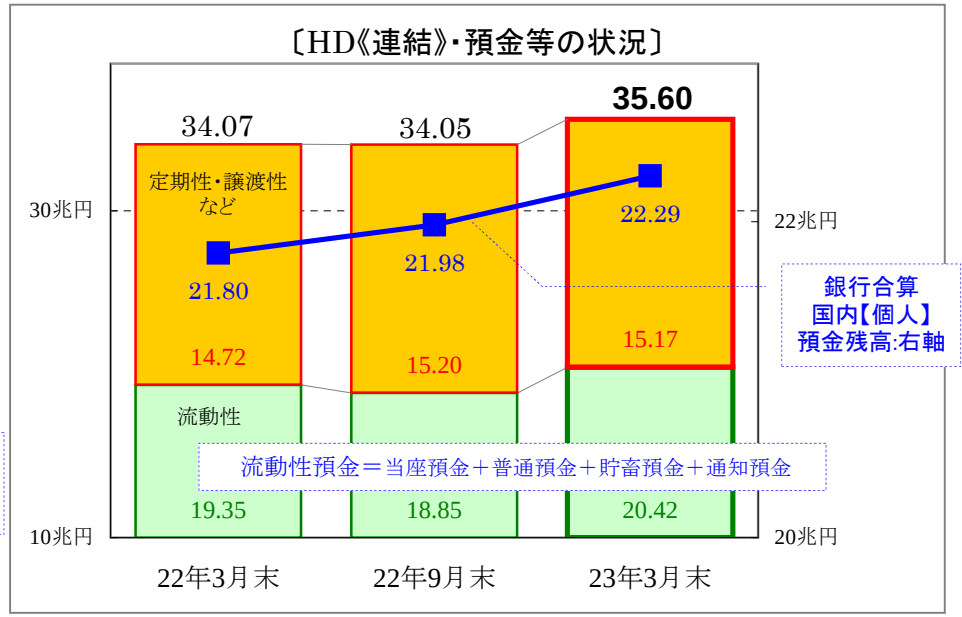


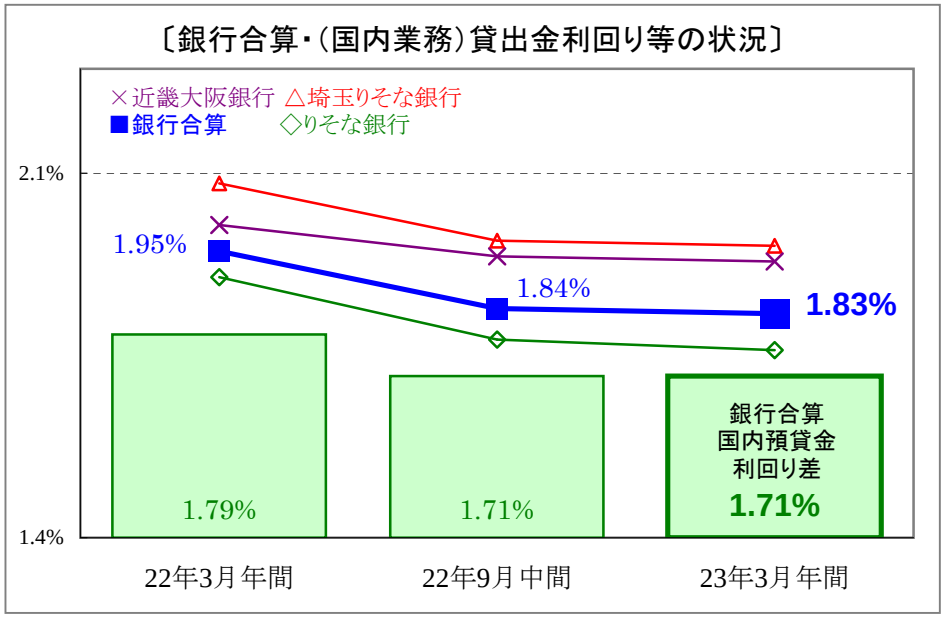


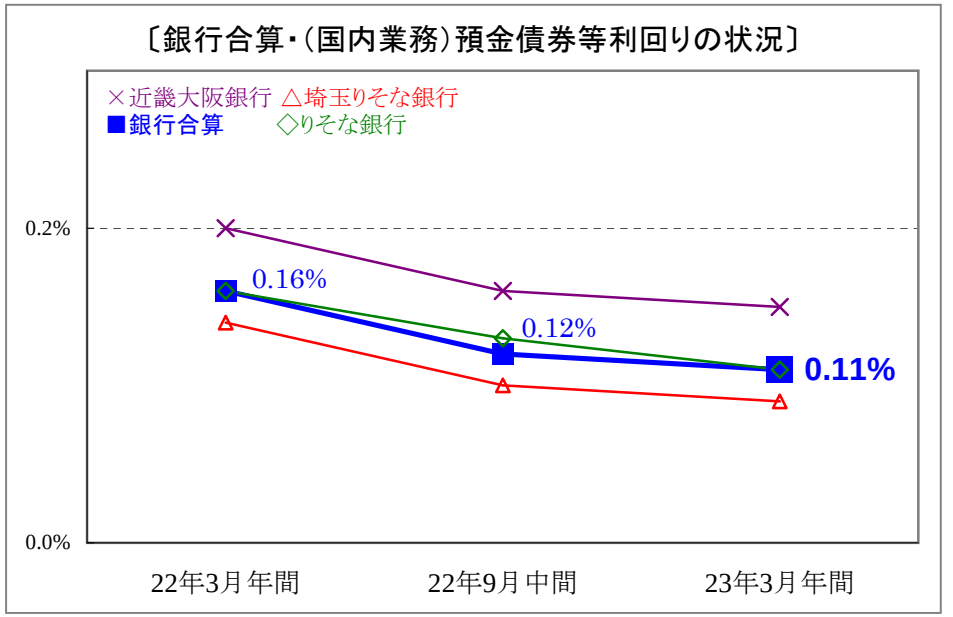
注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅲ. 預貸金の状況







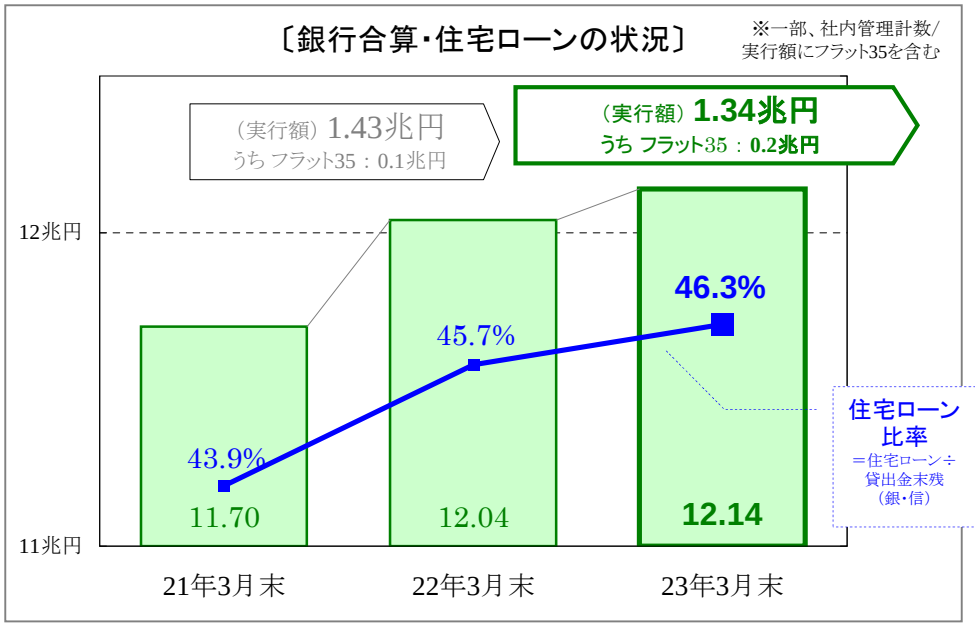


注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅳ. 重点ビジネスの状況

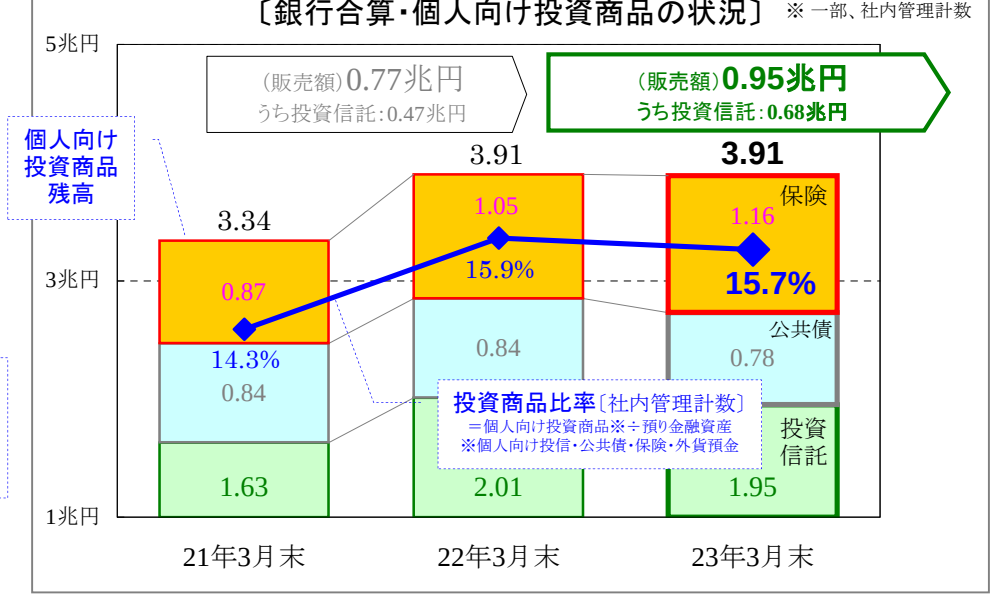
〔銀行合算・住宅ローンの状況〕

※一部、社内管理計数/実行額にフラット35を含む



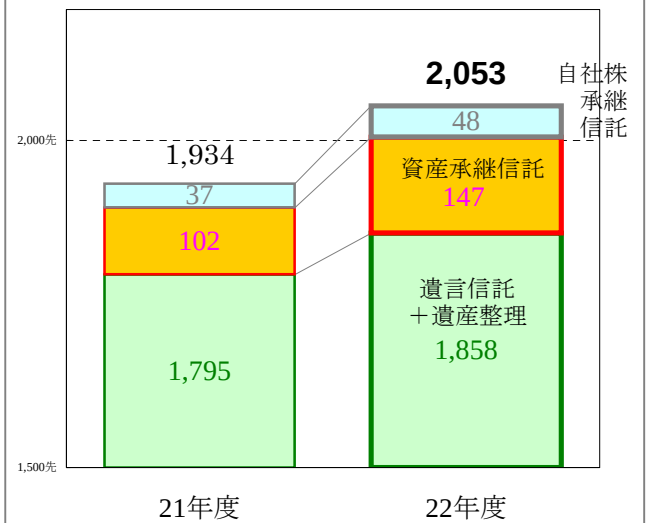
〔銀行合算・個人向け投資商品の状況〕

※ 一部、社内管理計数



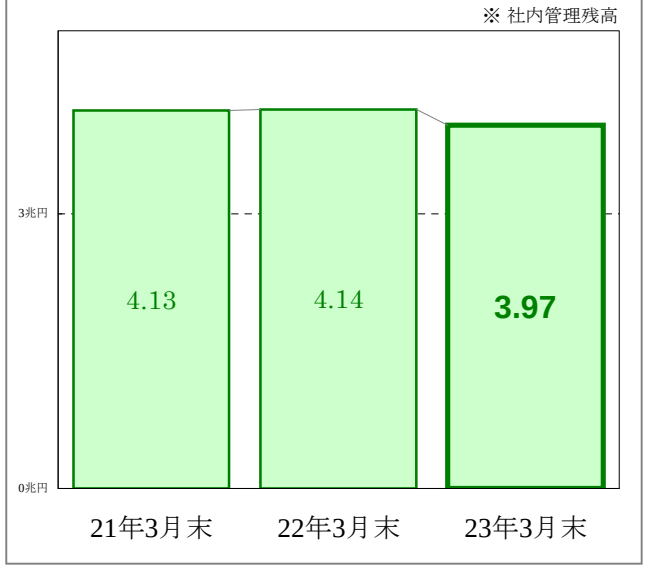
〔りそな銀行・資産承継ビジネス※の状況〕

※ 社内管理の新規利用件数



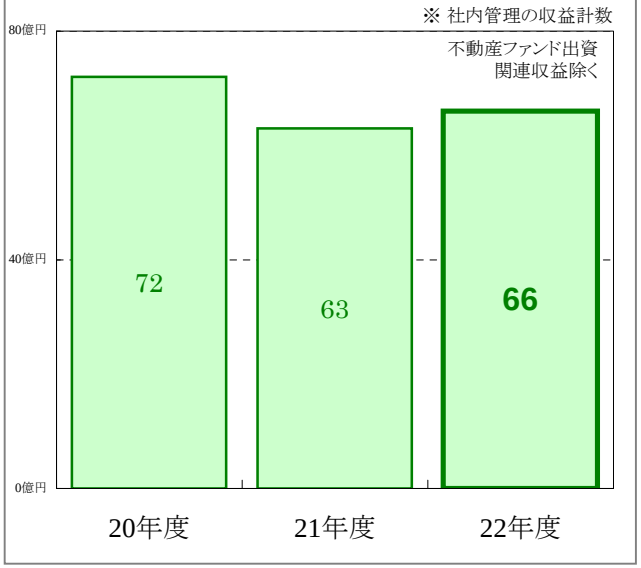
〔りそな銀行・企業年金受託残高※の状況〕

※ 社内管理残高



〔りそな銀行・不動産業務※の状況〕

※ 社内管理の収益計数

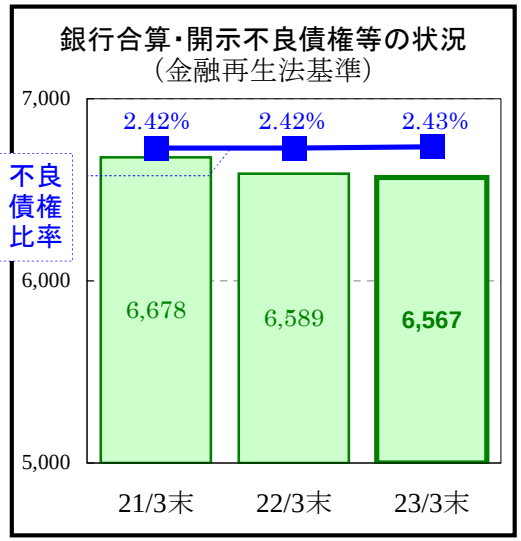


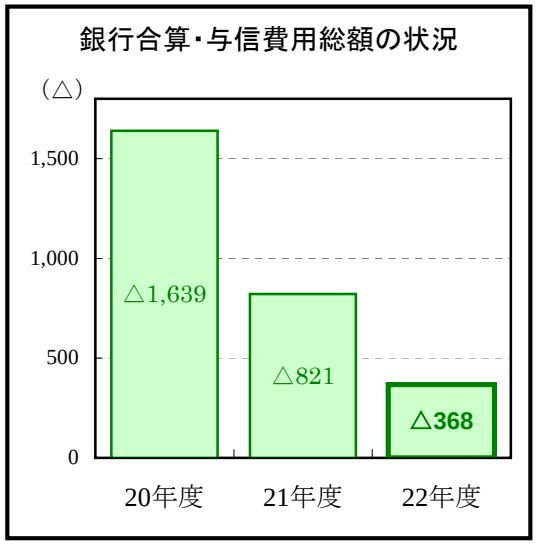
注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅴ. 与信費用・開示不良債権の状況

（単位：億円）

		銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
	信託勘定処理	△0	△0	—	—
	一般貸引繰入額	47	36	11	0
	個別貸引繰入額	△214	△103	△65	△44
	償却他処理額	△489	△351	△68	△69
	償却債権取立益	288	243	15	29
与信費用総額		**△368**	△175	△107	△84
①	新規発生	**△670**	△471	△116	△82
②	区分改善	**125**	99	22	2
③	オフバランスなど	**120**	150	△25	△5
④	一般貸引	**57**	45	11	0





① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失
② 債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
③ 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算
④ 実質的な一般貸倒引当金の繰入・戻入をネットした影響等（一部、目的取崩等を考慮）

Ⅵ. 有価証券の評価損益等の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	790	481	160	148
危険債権	4,094	2,827	792	475
要管理債権	1,682	1,079	264	338
開示不良債権計	**6,567**	4,387	1,216	962
22年3月末比	△22	△197	＋72	＋102
不良債権比率※1	**2.43%**	2.44%	1.88%	3.78%
22年3月末比	＋0.00%	△0.09%	＋0.11%	＋0.53%

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
満期保有目的	245	31	152	61
その他有価証券※2	**926**	604	362	△40
22年3月末比	△271	△162	△94	△14
債券	**△143**	△172	58	△30
うち 変動利付国債	△65	△55	△11	1
株式	**1,119**	798	306	14
その他	**△49**	△21	△3	△24

※1. 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計（総与信）【銀信合算】

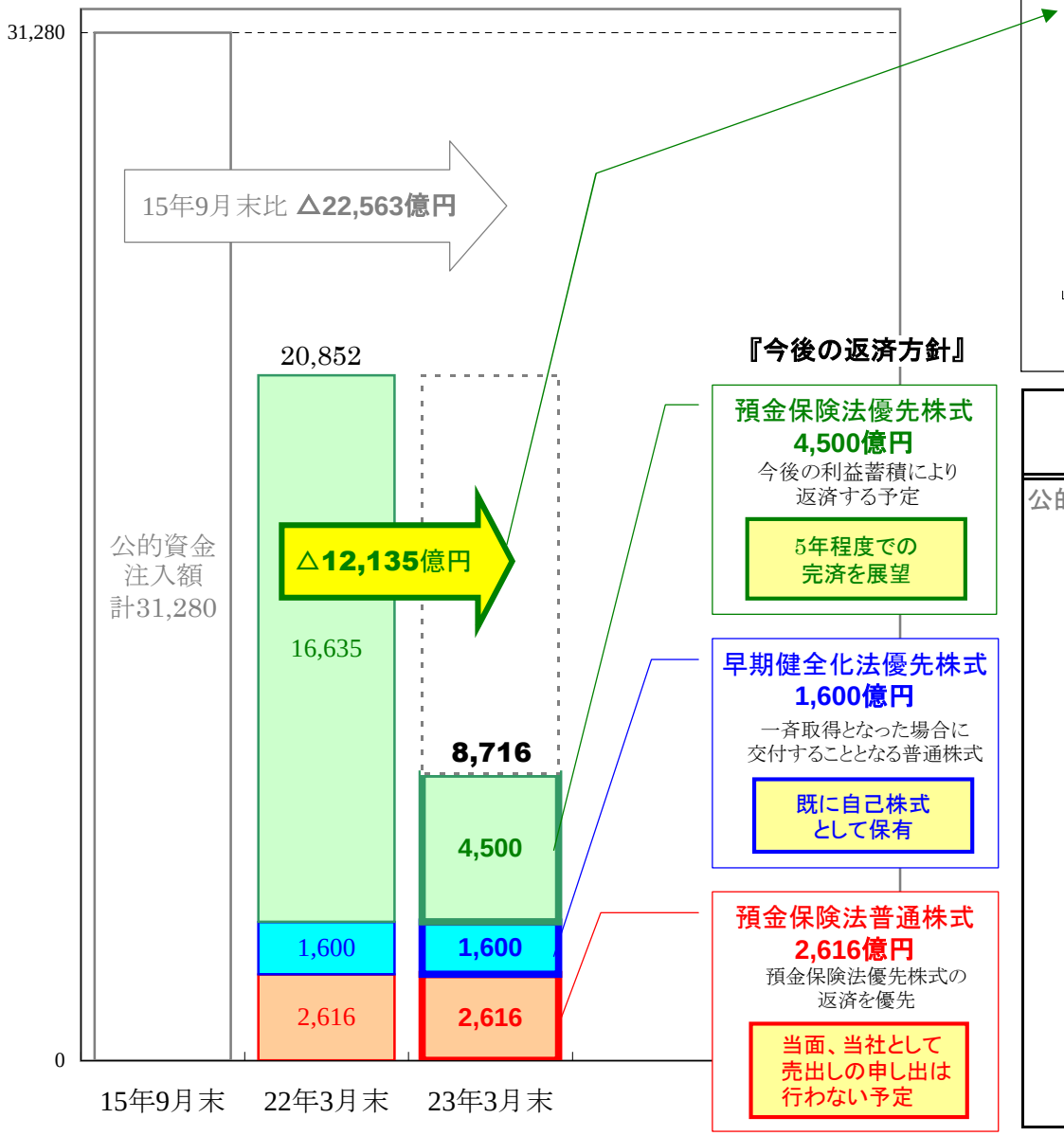
※2. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の一部を含む。時価のある有価証券のみを対象として記載しております。その他有価証券の債券（うち国債）に含まれる変動利付国債の時価は、日本証券業協会売買参考値を用いて算出しております。なお、社内管理ベースの理論価格で試算した場合、評価差額は107億円となります。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

（単位：億円）

Ⅶ. 公的資金の状況等

公的資金残高（注入額ベース）の推移と今後の返済方針

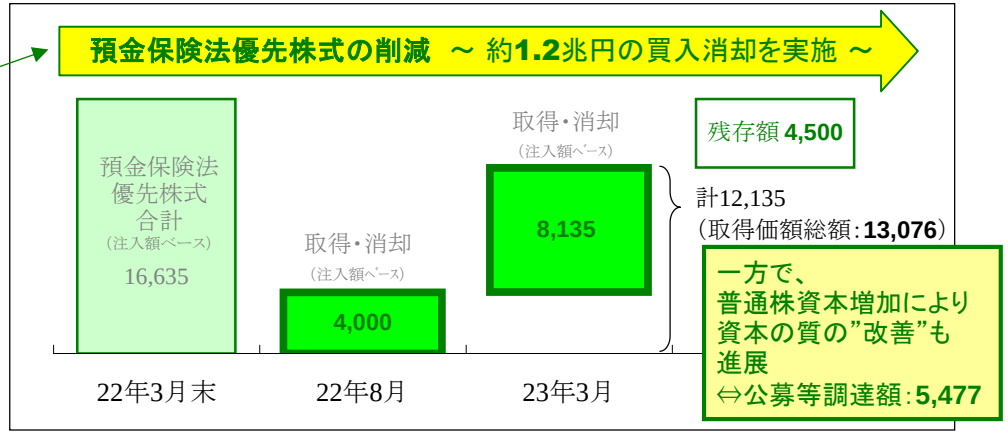


『今後の返済方針』

預金保険法優先株式
4,500億円
今後の利益蓄積により返済する予定
5年程度での完済を展望

早期健全化法優先株式
1,600億円
一斉取得となった場合に交付することとなる普通株式
既に自己株式として保有

預金保険法普通株式
2,616億円
預金保険法優先株式の返済を優先
当面、当社として売出しの申し出は行わない予定



	15年9月末残高 ①	23年3月末残高 ②	23年3月末残高 ②－①	返済時期
公的資金合計	31,280	8,716	△22,563	
優先株式	25,315	6,100	△19,215	
早期健全化法	8,680	1,600	△7,080	
乙種	4,080	—	△4,080	H.21.3完済
丙種	600	600	—	
戊種	3,000	—	△3,000	H.21.3完済
己種	1,000	1,000	—	
預金保険法	16,635	4,500	△12,135	H22年度返済
第1種	5,500	—	△5,500	
第2種	5,635	—	△5,635	
第3種	5,500	4,500	△1,000	
劣後ローン	3,000	—	△3,000	
金融安定化法	2,000	—	△2,000	H.17.10完済
早期健全化法	1,000	—	△1,000	H.21.3完済
普通株式	2,964	2,616	△347	H.17.2ほか計3回返済

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

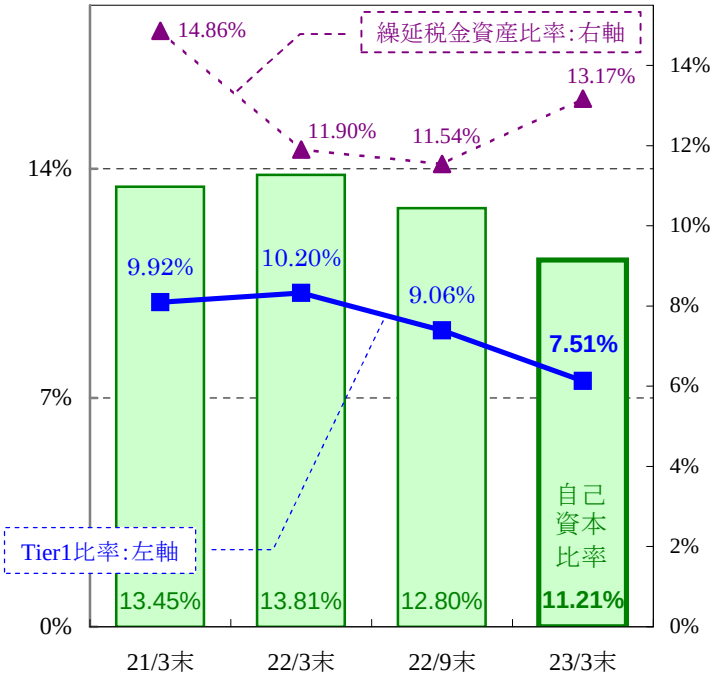
（単位：億円）

Ⅷ. 自己資本比率の状況

	22年3月末 ①	22年9月末	23年3月末 ②	〔速報値〕 ②−①
HD連結・自己資本比率（第二基準）	13.81%	12.80%	**11.21%**	△2.60%
Tier 1比率	10.20%	9.06%	7.51%	△2.69%
繰延税金資産比率※1	11.90%	11.54%	13.17%	＋1.27%
HD連結・BIS自己資本額	28,140	24,327	21,190	△6,950
Tier 1	20,786	17,223	14,189	△6,597
Tier 2	7,521	7,262	7,151	△369
控除項目	167	157	150	△17
HD連結・リスク・アセット等	203,714	189,988	188,938	△14,775
HD連結・総所要自己資本額※2	16,297	15,199	15,115	△1,182
【参考】				
HD連結・自己資本比率（第一基準）※3	14.19%	12.98%	11.43%	△2.76%
Tier 1比率	10.08%	8.87%	7.32%	△2.76%

	りそな《連結》	埼玉りそな〈単体〉	近畿大阪《連結》
自己資本比率（国内基準）	**11.76%**	**12.10%**	**12.85%**
22年3月末比	＋0.73%	＋1.01%	＋2.14%
Tier 1比率	8.10%	7.55%	8.00%
BIS自己資本額	16,072	4,439	1,814
22年3月末比	＋124	＋188	△9
Tier 1	11,065	2,770	1,130
Tier 2	5,409	1,772	692
控除項目	402	102	8
リスク・アセット等	136,605	36,681	14,115
22年3月末比	△7,936	△1,636	△2,903
総所要自己資本額※2	10,928	2,934	1,129
22年3月末比	△634	△130	＋448

【参考】HD連結・自己資本比率（第二基準）の推移



※1 繰延税金資産の純額÷Tier 1

※2 りそなホールディングス及び傘下銀行は国内基準行ですが、基礎的内部格付手法を採用しているため、総所要自己資本額は「リスク・アセット等×8%」により算出しております。なお近畿大阪銀行は平成22年3月末においては標準的手法を採用していたため、当該期の総所要自己資本額は「リスク・アセット等×4%」により算出しております。

※3 平成20年金融庁告示 第79号第2条第2項を適用し、基本的項目（Tier1）の算出にあたっては、「その他有価証券」のうち国債等に係る評価差額を勘案せず、また補完的項目（Tier2）の算出にあたっては、国債等に係る評価差額を勘案しない取扱いとしております。上記告示を適用しない従来基準に基づく平成23年3月末連結自己資本比率は11.39%、Tier1比率は7.32%です。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅸ. 平成24年3月期 通期の業績予想

（単位：億円）

	HD《連結》		
	（中間期予想）	〔通期予想〕	前年実績比
連結経常収益	4,200	**8,300**	△298
連結経常利益	970	**1,900**	△202
連結当期（中間）純利益	750	**1,500**	△100

	HD〈単体〉		
	（中間期予想）	〔通期予想〕	前年実績比
営業収益	750	**1,500**	＋1,187
営業利益	700	**1,400**	＋1,140
経常利益	700	**1,400**	＋1,167
当期（中間）純利益	700	**1,400**	＋1,138

期末自己資本比率見込	11%台半ば

24年3月期末普通配当予想※	12円
24年3月期末優先配当予想※	所定の配当

※ 配当状況・予想の詳細については「決算短信」表紙2.配当の状況をご覧下さい

	銀行合算 【概数】				りそな			埼玉りそな			近畿大阪		
	（中間期予想）	〔通期予想〕	前年実績比	健全化計画比	（中間期予想）	〔通期予想〕	前年実績比	（中間期予想）	〔通期予想〕	前年実績比	（中間期予想）	〔通期予想〕	前年実績比
業務粗利益	2,980	**6,020**	△37	△10	1,965	3,970	△38	740	1,490	＋7	280	560	△6
経費	△1,730	**△3,440**	＋16	＋20	△1,135	△2,260	＋15	△385	△770	△8	△205	△410	＋8
実勢業務純益	1,250	**2,580**	△20	＋10	830	1,710	△22	355	720	—	75	150	＋3
経常利益	930	**1,820**	△110	△130	615	1,190	△148	310	600	＋21	10	25	＋13
税引"前"当期（中間）純利益	1,000	**2,000**	△177	＋80	685	1,360	△193	305	595	＋9	20	45	＋7
税引後当期(中間)純利益	725	**1,450**	△55	＋140	（連結納税制度を採用しております）								
株式関係損益	—	**—**	＋17	△40	—	—	＋19	—	—	＋1	—	—	△4
与信費用総額	△270	**△590**	△222	＋50	△175	△400	△225	△45	△100	＋7	△45	△85	△1

	《連結》	〈単体〉	《連結》
期末自己資本比率見込	11%台半ば	11%台前半	12%台前半

本資料中の将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。
本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。
併せて、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌など各公表済の最新資料をご参照下さい。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示